

1. 概況

当月の通信機器〔国内〕の受注・出荷は751億円(前年同月比26.0%増)と6か月ぶりに増加。有線端末機器は、インターホンとその他合計(同比6.2%増)が同比を上回ったが、VoIP-GW(同比26.0%減)、事業所用コードレスホン(同比8.5%減)、ファクシミリ(同比20.4%減)が同比を下回ったため、全体では159億円(同比15.2%減)と減少した。

移動体端末機器は、携帯電話が3月末販売キャンペーンの反動からの回復と、6月以降の夏モデル発売に向けて出荷が伸長したため、全体では212億円(同比41.8%増)と増加した。高価格帯モデルの出荷台数の割合が高くなり、携帯電話の平均単価は高水準を推移した。

有線ネットワーク関連機器は、構内用電子交換機(同比28.6%増)、ボタン電話装置(同比10.7%増)などが同比を上回ったが、前年度からのキャリアによる投資抑制が継続した影響に伴い、デジタル伝送装置(同比58.4%減)、その他の伝送装置(同比40.8%減)などが同比を下回ったため、全体では107億円(同比36.5%減)と大幅に減少した。

無線ネットワーク関連機器は、地上系で地方自治体向け、衛星系で中央官庁等向けが大幅な需要増となった固定通信装置(同比270.2%増)と、基地局通信装置(同比2,337.8%増)が同比を大幅に上回ったため、全体では238億円(同比301.6%増)と大きく増加した。

その他ネットワーク関連機器は、ルータ(同比25.6%減)が同比を下回ったが、LANスイッチ・ハブ(同比35.3%増)が同比を上回り、全体では33億円(同比11.4%増)と増加した。

通信機器用部品は、2億円(同比31.0%増)と2年7か月ぶりに増加した。

2. 受注・出荷実績

		(金額単位: 百万円)					
月・期別		5月	前年同月 比増減率(%)	4月～5月 累 計	前年同期 比増減率(%)	1月～5月 累 計	前年同期 比増減率(%)
機 種 別	通 信 機 器	75,063	26.0	126,040	11.4	355,320	-7.3
	端 末 機 器	37,103	10.0	62,273	0.9	188,860	3.9
	有 線 端 末 機 器	15,943	-15.2	33,726	-10.6	110,667	-1.7
	移 動 体 端 末 機 器	21,160	41.8	28,547	19.0	78,193	13.2
	ネ ッ ト ワ ー ク 関 連 機 器	37,795	47.0	63,517	24.1	165,679	-16.7
	有 線 ネットワーク関連機器	10,658	-36.5	20,975	-39.3	63,756	-41.3
	無 線 ネットワーク関連機器	23,792	301.6	35,953	222.2	80,611	10.0
	そ の 他 ネットワーク関連機器 (ルーター・LANスイッチ等)	3,345	11.4	6,589	20.1	21,312	26.7
	通 信 機 器 用 部 品	165	31.0	250	16.3	781	-73.1

(注) 1. CIAJ自主統計に基づく

2. 移動体端末には市民用トランシーバー、アマチュア用通信装置を含まず

3. ボタン電話装置は、端末機器に含めず、ネットワーク関連機器に含めた(2018年4月から)

3. 受注・出荷推移

